

聞法山頂妙寺は三条橋東の北三町にあり、右同宗一致派にして開基は日祝上人なり、権大僧都法印にして、姓は千葉氏、下総国千葉郡の人なり、永正十年四月十二日寂す、年八十七。当寺楼門の二天、東は持国天西は多門天にして、運慶安阿弥の両作なり。靈験新にして常に詣人絶ず。「楼門の前に二天の拜殿あり、他に異なり」細川治部少輔源勝益寺地を寄付して頂妙寺と号す。初の地は新町通鷹司〔今の下長者町なり〕にあり、其後中御門〔今の榎木町なり〕の北高倉御所の旧地にうつす、天正の末に又此地に遷す。